

広報 あいかわ

わたくしたちの町

人口(男)…… 4,708人
(女)…… 5,015人
合計…… 9,723人
8月中の転入 34人
転出 27人
世帯数…… 2,206世帯

(8月31日住民登録人口調)

人の和で住みよい 町づくりを

東地区がモデルコミュニティ

秋田県では、新しい施策として昭和四十八年四月から全県的なコミュニティづくりを推進していますが、本年度のモデルコミュニティ地区として本町の東地区が正式指定を受け、秋田県モデルコミュニティ地区として設定されました。そこで、コミュニティとは、どんなことなのか、私たちにどんな関係があるのか、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

まず、コミュニティとは、どんな意味をさすのか、日本語では定まった用語はありませんが、一般に「近隣社会」「地域社会」などいわれており、もっとわかりやすくいえば「同一地域の



人の和から生まれる、住みよい町。(郷土芸能もそのひとつ、老若男女を問わず楽しませてくれた。)

住民が人間生活最優先という基本的理念のもとに、共同意識や連帯意識をもって、民主的につくりあげていく社会である。すなわち「人の和で幸せさくみん」の社会」と呼ばれており

つ子、老人世帯の問題、また、冬期間町を離れての出稼ぎは過疎問題をおこし、防災、医療、教育など一連のあらゆる面での家庭生活を阻害する現象もひきおこしております。



異常豪雪は連帯意識をめぐめさせてくれた。

ける交通通信機関の発達を目をみはるものがあり、住民の行動範囲は広がり、生活様式はもちろんのこと、生活意識までが都市化されたのままとまりが次第に薄らぎつつあります。

薄れゆく 連帯意識

つい最近までは、地域は共通の目的、共通の悩みをもった同質社会でした。

このことは、農村部になればなるほど強いはずで、結びつかれており、田植、生活用水路のせき払い、道路の補修、冬の道つけとすべてが共同意識のもとで行われてきており、夏には、盆おどり、秋には秋祭りとおどりのやすらぎの場もあらずに、生活の一部としてつくりだされてきました。それがいまでは、社会の変動にもなっており、農村部においても生活様式はもちろんのこと生活意識までが次第に都市化されつつあり、家庭生活や家庭をとりまく生活環境が大きく変化しているいろいろな問題を生じています。

など文明がもたらした社会問題は、数年前まではだれもが予想しなかったことでも、いまや文明病が私たちの生活をうずまき、安全な生活の確保が地域住民の共通の課題になってきています。これらの問題の解決は、もはや個人が家庭の力だけではむずかしく、あらためて地域社会の連帯意識に支えられた地域の共同の力が必要となってきています。

自らのことは 自らの手で解決

このように個人、家庭の力だけではむずかしい問題の課題として、共通の場で十分話し合いながら、地域共通の要求として調整していくところに、コミュニティの大きな役割があるのです。

これからは「自らのこと、自らの力で、自らが行う」という意識が大切であり、いままでのようにいつまでもお任せな態度

度や受身の姿からは、もはや脱し、地域の共通課題として自分たちで出来ることとはなにか、よりよい地域社会をつくるためにはなにが必要であるかなど自分たちで相談し計画して、どうにも手におえないものは、地域のまとまった要求として、町、県に要望するとい

う形が望ましいことでもあります。したがって地域の環境改善、学習、レクリエーションなどに積極的に取りくんでいく機能集団が本町のコミュニティの姿であります。

国も県もコミュニティの重要性を叫んでいるのはこのためであり、もちろん昔の「官制隣組」の復活ではありません。

町には百人以上の脳卒中患者がいます。しかし、この人達にも明るい明日があります。それがリハビリ学級で、町では北秋中央病院と鷹巣保健所の協力をえて、このほど初の脳卒中患者リハビリ学級をことぶき荘で開設しました。

学級は診察や症状に合わせた機能訓練などが主体に行われましたが、なかには、おもしろいお話や、か

く芸大会などもおこまれば暗くすみみちになる患者さんこの日は、それぞれおもしろく楽しみ合

い、思い出の一日としまし

このリハビリ学級は、機能回復によりやがては、自分の能力のできる範囲で仕事をみにつけ、他の助けを借りず、立派に社会の一員として復帰しようとするもので、これまでは、この学級を何人もの人たちが卒業し、普通の人のまげないくらいの毎日の生活を送っています。

数年前までは、明日への希望もなく毎日の暗い生活のイメージをおもいおこさせていた脳卒中も、いまでは、自分の訓練しだいで立派に社会人として復帰で

あくまでも明るい住みよい地域社会の実現をめざすために、地域民が一丸となり参加、これにより、地域の人々の連帯感を強める必要性を叫んでいるのです。

さいわいに本町はそれほど地域の人の連帯感はずすれておりませんが、総体的にみれば、やはり、少しでも地域社会の一員としての活動をすることはなくないでしようか。

県コミュニティ研究会委員である、渡辺誠一郎氏はこういっています「毛利元就の三本の矢の例のように弱い個々の力でも結集すると強い、その個々の矢(力)を集めてつなぐヒモがコミュニティではないか」と。

人の和でつくりあげたいものです。住みよい町、部落づくりを、心の豊かな人づくりを。

八月九日、役場前広場で翌日の秋田のふるさとまつりに出演する合川町連合青年会の盆踊りの前夜祭があった。広報無線で放送しただけなのに、集った観衆は約五百人、他町村の人も見受けられた。

約五十人の踊り手は全町の単位青年会から集まり、奴からはじまって踊りにおわる素晴らしいものであった。長い間あんなに農村で盛んだった盆踊りが、戦争末期から姿を消し、戦後は新時代の娯楽に押し流されて消滅したと思っていたこの盆踊りが、三

十数年にしてこつ然と蘇ったのだ。見物人のおばあさんが、一緒に踊りだす一幕もあって、長い間ふるさとの人々の心に深

きることが立証されており

このように患者のみならずがたにも明るい明日はあります。

「明日への希望」を目標

に、患者のみならずの努力と家庭のみならずの協力です。

一日も早く、全員が社会復帰できることを願っています。

ある場合には原則として、この試験合格者の中から採用することになっております。

秋田県町村会では、昭和四十九年度における町村の初級事務職員資格統一試験(教養)を十月二十六日に秋田市で実施することになりました。

合川町でもこの試験実施を委嘱し、町職員に欠員が生じて補充する必要

くしまわっていたことが立証された。

子供の観客も多かった。連青のこの快挙は涙ぐましい努力によって実ったが、古老から笛や太鼓、そして手振り、足さばき、腰の高さなどを克明に学んだ。長い練習の時間、それはそのまま青年の団結をもたらしただろう。

現代の青年に対する評価はまちまちであるが、この死滅した世界から一粒の種子を大切に育てあげた町の青年の執念こそ賞讃に価するものである。

このことは、八月十八日の町民体育祭のひるの時間にも再現されたが、今後はしし踊りも加えて強大なものに育ててもらいたいものである。(義)

町長日記から

八月九日、役場前広場で翌日の秋田のふるさとまつりに出演する合川町連合青年会の盆踊りの前夜祭があった。広報無線で放送しただけなのに、集った観衆は約五百人、他町村の人も見受けられた。

簡易保険の融資事業

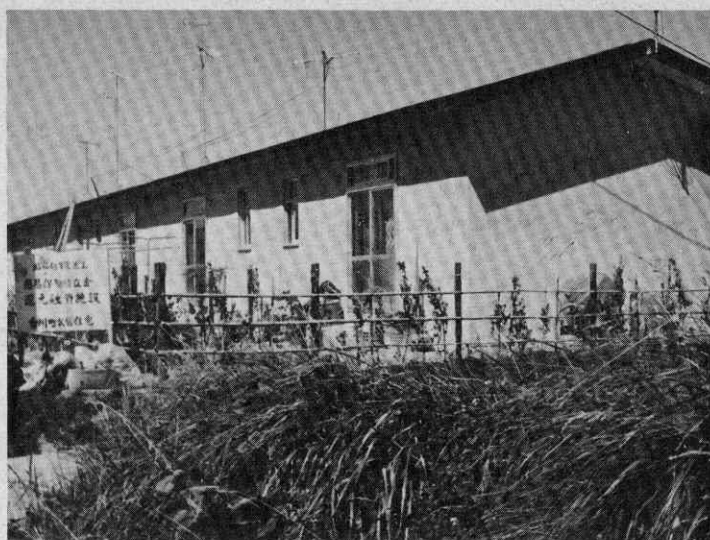
学校、住宅、林道など建設、整備

町の重点事業である学校建築・公営住宅建築・農業基盤整備などは、多額のお金がかかります。そこで町では、「簡易保

融」の積立金から融資をうけて、これらの事業を進めています。ちなみに、四十八年度に融資総額は五千六百六十万円にもなります。

このように簡易保険は、家庭のしあわせだけでなく町の公共事業の整備にも役立っています。

土地や建物を売った場合には所得税がかかります。土地や建物を売った場合の利益を譲渡所得といいますが、これに対して所得税がかかります。この譲渡所得の税金は、土地問題の解決などのために、ふつうの所得税とは別に異なった方法で計



簡保の還元融資施設町営住宅(合川町駅前)

町政モニター

幾日も放置されているゴミ袋

週二回のゴミ収集は大変な仕事です。しかし、肥料袋に入れたゴミが各所に置きざりにされています。中には残飯が入っているものもあるようです。

す。一日も早く処理して今後の指導徹底をはかっていたらいいと思います。(四〇代・主婦・下杉)

町営でゴミの収集をしてから二年六月になります。大部分の地域は整然と収集されており、これは、集める方と出す方がお互いに相手の立場を理解してこそ、さると思

美観上、衛生上きわめて困ったものだと思います。

土地や建物を売ったときの税金

救急車



合川分署に配置された救急車

鷹巣阿仁広域消防署合川分署に「救急車」が配置され、救急業務を開始することになりました。

救急車の利用については次の点に心がけて正しく利用するようにいたします。

▼救急車を呼ぶときは「救急車を呼ぶ」といって、救急業務を開始することになります。

▼救急車を呼ぶときは「救急車を呼ぶ」といって、救急業務を開始することになります。

▼救急車を呼ぶときは「救急車を呼ぶ」といって、救急業務を開始することになります。

税額の格差は

税額の決定については、あらゆる条件因子が同じであっても格差のあるこ

とが多いなど定に間違いがあるのではないかと苦情が出ているので調査願

また、申告時の指導も願

(五〇代・西根田・公務員) 設問の主旨は税のバランスに均衝を欠いていること

とが、本人の所得がわからぬので実情に合わせ決定することもあります。

救急車を配置

その代替資産を買い入れた場合等それぞれ特別控除や買換えの特例によって計算され、詳しいことは町税務課、または大館税務署へ。

ガス中毒・薬毒事故。やけど、その他室内作業中のケガ。

にきて尊い浄財の寄附をいただきました。町の社会福祉事業の基金に繰り入れ有効に役立たせることにいたしました。

○山岡 誠(雪田) 父・松蔵さんの香典返しにかえて一万円

○石戸三郎(川井) 母・モヨさんの香典返しにかえて一万円

善意のご寄付

次の方々から、香典返し

○小川常蔵(新田目) 母・ノブさんの香典返しにかえて二万円

○成田織治(李岱) 父・米吉さんの香典返しにかえて五万円

○山岡 誠(雪田) 父・松蔵さんの香典返しにかえて一万円

○石戸三郎(川井) 母・モヨさんの香典返しにかえて一万円

ありがとう

すべてを犠牲にし、国土の安全と、私達の生活を守ってくれた、三百三十八柱の英霊に心から冥福をお祈りします。

大野台は町民の心のふるさとです。自然をいつまでも大切にしましょう。

○小川常蔵(新田目) 母・ノブさんの香典返しにかえて二万円

○成田織治(李岱) 父・米吉さんの香典返しにかえて五万円

○山岡 誠(雪田) 父・松蔵さんの香典返しにかえて一万円

大野台の自然を守る

大野台の緑の中にひときわ、はえを見せ「きれいな自然環境、すみよい郷土」の看板が設置されておりま

○山岡 誠(雪田) 父・松蔵さんの香典返しにかえて一万円

○石戸三郎(川井) 母・モヨさんの香典返しにかえて一万円

○山岡 誠(雪田) 父・松蔵さんの香典返しにかえて一万円

○石戸三郎(川井) 母・モヨさんの香典返しにかえて一万円

大野台の自然を守る

大野台の緑の中にひときわ、はえを見せ「きれいな自然環境、すみよい郷土」の看板が設置されておりま

○山岡 誠(雪田) 父・松蔵さんの香典返しにかえて一万円

○石戸三郎(川井) 母・モヨさんの香典返しにかえて一万円

○山岡 誠(雪田) 父・松蔵さんの香典返しにかえて一万円

○石戸三郎(川井) 母・モヨさんの香典返しにかえて一万円

大野台の自然を守る

大野台の緑の中にひときわ、はえを見せ「きれいな自然環境、すみよい郷土」の看板が設置されておりま

○山岡 誠(雪田) 父・松蔵さんの香典返しにかえて一万円

○石戸三郎(川井) 母・モヨさんの香典返しにかえて一万円

○山岡 誠(雪田) 父・松蔵さんの香典返しにかえて一万円

○石戸三郎(川井) 母・モヨさんの香典返しにかえて一万円

大野台の自然を守る

大野台の緑の中にひときわ、はえを見せ「きれいな自然環境、すみよい郷土」の看板が設置されておりま

○山岡 誠(雪田) 父・松蔵さんの香典返しにかえて一万円

○石戸三郎(川井) 母・モヨさんの香典返しにかえて一万円

○山岡 誠(雪田) 父・松蔵さんの香典返しにかえて一万円

○石戸三郎(川井) 母・モヨさんの香典返しにかえて一万円

大野台の自然を守る

大野台の緑の中にひときわ、はえを見せ「きれいな自然環境、すみよい郷土」の看板が設置されておりま

○山岡 誠(雪田) 父・松蔵さんの香典返しにかえて一万円

○石戸三郎(川井) 母・モヨさんの香典返しにかえて一万円

○山岡 誠(雪田) 父・松蔵さんの香典返しにかえて一万円

○石戸三郎(川井) 母・モヨさんの香典返しにかえて一万円

大野台の自然を守る

大野台の緑の中にひときわ、はえを見せ「きれいな自然環境、すみよい郷土」の看板が設置されておりま

○山岡 誠(雪田) 父・松蔵さんの香典返しにかえて一万円

○石戸三郎(川井) 母・モヨさんの香典返しにかえて一万円

○山岡 誠(雪田) 父・松蔵さんの香典返しにかえて一万円

○石戸三郎(川井) 母・モヨさんの香典返しにかえて一万円